

製品名: TRAC-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19177**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	RNF125
別名	RNF125; E3 ubiquitin-protein ligase RNF125; RING finger protein 125; T-cell RING activation protein 1; TRAC-1
遺伝子 ID	54941.0
SwissProt ID	Q96EQ8
免疫原	抗血清はヒト RNF125 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

背景

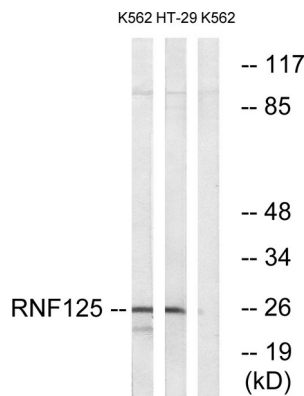
リングフィンガータンパク質 125 (RNF125) ホモサピエンスこの遺伝子は、N 末端にリングフィンガードメイン、C 末端に 3 つの垂

鉛結合モチーフと1つのユビキチン相互作用モチーフを含む新規 E3 ユビキチンリガーゼをコードしています。ミリスチル化の結果、このタンパク質は膜に結合し、主に細胞内膜系に局在します。コードされているタンパク質は、T細胞受容体シグナル伝達経路の正の調節因子として機能する可能性があります。[RefSeq 提供、2012年3月]機能: T細胞活性化の正の調節因子として機能する E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ。E3 リガーゼタンパク質は、標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介します。経路: タンパク質修飾;タンパク質ユビキチン化。類似性: RING型ジンクフィンガーを1つ含む。組織特異性: 骨髄、脾臓、胸腺などのリンパ組織で主に発現する。他の組織でも弱く発現する。CD4+およびCD8+ T細胞で主に発現することから、T細胞に優先的に局在することが示唆される。、

研究分野

RIG-I 様受容体;

画像データ



RNF125 抗体を用いた K562 細胞および HT-29 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。